

# 2009 年度 medika osaka

## 選択講座案内

### 講座紹介

講座レベル A初級 B中級 C上級

#### 英語 4 講座

##### 医系 基本英作文

月曜日 6限目 A・B・C

いわゆる「英作文」は、英語を勉強する多くの受験生が最も苦手な分野だと思われる。英文を書くにはまず「語彙力」がなければならず、「文法」・「構文」等の授業で培った知識と連動させることが不可欠だからだ。

大学入試の「全文英訳」では、原則として1つの和文につき1つの英文が書ければよい。

したがって当講座では、特殊な言い回しよりも書くために使えるような表現をしっかりと見つけてゆくことに主眼を置きたい。そのために前期は「部分英訳」によって基礎力をつけながら、短めの和文を「全文英訳」する練習を中心に行う。後期は受験生が目指す志望校の出題形式も視野に入れながら、各自の実状に応じた講義にする予定である。

##### 医系 基本英文読解

月曜日 7限目 A・B

私立大医学部の入試問題では、その大半を長文客観問題が占めている。そのため設問が解けなければ、得点に結びつかないのは言うまでもない。とはいえ英語が苦手な受験生としては、まず英文そのものがある程度正確に読めるようになる必要がある。

この講座では、医系の学部で出題されることの多い医療・生物・環境などの諸問題をテーマにした4～5行ほどの英文に慣れ親しむことから始めてみる。さらにそれと平行して合格力を徐々に養うために、客観問題の解法テクニックとして有効なパラグラフリーディング＝「段落単位で論理展開を把握しながら読み進める読解法」の基本を身につけることを目標にしたい。

## 基本文法・語法

木曜日6限目 A・B

入試では、文法・語法問題はおとせないところです。ただやみくもに、問題集を解いても、自分はどこが弱いのか客観的に判断するのは難しい分野です。質疑応答をしていきながら、1人1人の弱点を克服していきます。医学部は、文法・語法問題が単独で出されやすいので、それに対処する同時に、解釈・英訳をも視野に置いて、文法・語法の解説をしていきます。文法・語法が苦手だが、やる気があるという方は是非受講して下さい。

## 関西四医大英語(大医・関医・近大・兵医)

木曜日7限目 B・C

関西四医大対策講座です。四大学はそれぞれ特色ある問題の出し方をします。しかし、過去問をやみくもに解いても力がつくわけではありません。例えば、大阪医大の下線部和訳では、どこまで書ければ合格点に達するのか？英訳では、合格点に達するポイントは何なのか？又、近大の英語長文では、各年度、どれくらいの正答率で、合格点に達するのか？合格点に達するには、どの設問を確実にあうだけの実力をつけなければならないのか？など疑問に思っていると思います。その点を考慮し、前期では、各大学の特色ある分野を講義し、後期では、各大学・総合的に問題あたっていきます。

## 数学 4 講座

### 基礎数学 I A I B

火曜日 6 限目 A・B

福岡・久留米・川崎・近畿・兵庫・愛知・藤田保健・聖マリアンナ・埼玉・東京・獨協・岩手などの大学の入試問題は、教科書章末問題レベルの問題が大半を占めています。

本講座においては、こういったレベルの問題をしっかりと解き切ることを目標にしつつ、普段ならさらっと説明されているような項目をじっくり時間をかけて深く説明したり、練習問題を多めにしたりして、着実に力を付けていけるような授業を展開していく予定です。

### 基礎数学 III C

火曜日 7 限目 A・B

基礎数学 IAIB の案内にも書いたような大学のうち、近畿大学以外の大学は数学 III の問題が出題されますが、これも教科書章末問題レベルのものばかりです。本講座においては、こういったレベルの問題をしっかりと解き切ることで、具体的には数学 III ならば「極限・微分計算、グラフを正確に描く、積分(面積体積)計算」数学 C ならば「ハミルトンケリーの定理周辺の問題、二次曲線とその接線」あたりの問題のうちの標準的なものを解けることが目標になります。その場で自ら手を動かすことも含めて、通常授業よりもゆったりと時間を使って着実に力をつけていけるような授業を展開していく予定です。

### 医系数学 I A I B

金曜日 6 限目 B・C

### 医系数学 III C

金曜日 7 限目 B・C

この講座では、医学部入試に必要な受験数学の研究およびテクニックを伝授します。レベルは標準～上級レベルの問題を扱います。テクニカルなりがちな分野ではありますが、もちろんテクニックの裏にある数学の本流を学びます。医学部に合格するためには何を如何に学ばよいか、攻略法を徹底的に指導します。また、定義・定理・公式については、抜けている知識がないよう、授業開始までに教科書などを利用して十分に確認をしておいてください。授業での解説はできる限り丁寧に行いますが、事前の予習を前提として講義を進めます。

## **化学** 4 講座

### **基礎医系理論化学**

**金曜日6限目 A・B**

今年度の医系理論化学は通常授業の進捗とリンクして復習テストの完成を目標に近大・金沢医科・藤田の良質な過去問を中心に演習を行う。更に復習テストの選択問題にも対応できる基礎力をつけることを目指す。

### **基礎医系物質化学**

**金曜日7限目 A・B**

今年度の医系有機化学は通常授業の進捗とリンクして復習テストの完成を目標に近大・金沢医科・藤田の良質な過去問を中心に演習を行う。更に復習テストの選択問題にも対応できる基礎力をつけることを目指す。

### **医系理論化学**

**火曜日6限目 B・C**

今年度の医系理論化学は通常授業の進捗とリンクして近大・関医・大医の良質な過去問を中心に演習を行う。

更に復習テストの実力問題にも対応できる応用力をつけることを目指す。

### **医系物質化学**

**火曜日7限目 B・C**

今年度の医系有機化学は通常授業の進捗とリンクして近大・関医・大医の良質な過去問を中心に演習を行う。

更に復習テストの実力問題にも対応できる応用力、また安定した有機単元となることを目指す

## 生物 2 講座 (計 4 コマ)

基礎医系生物  $\alpha \cdot \beta$  ※2 コマセット受講

月曜日6・7限目 A・B

この授業では、生物の知識があやふや、実験考察や計算問題が苦手、生物を難しいと思っている、1人で勉強すると時間がかかる方を対象としています。ですから160分/回にしては濃密です。

また、「理解」・「理屈」・「反復」を第一とします。入試に必要な知識は生物単語だけではありません。生物単語は英語で言う単語帳です。使わないと意味がない。考え方、そして入試問題の解き方も知識です。このため、

- ・公式暗記は廃止（生物の計算問題の大半は算数であるから、覚えなくても解けます）。

- ・生物知識を定着させるために、生物知識の穴埋めを何度も配布し、反復

- ・重要な問題は忘れたところに再度実施（入試問題も反復、解き方も反復）

（入試問題も知識として頭にストックします）

何度も何度も反復させることで、生物知識の定着とともに重要な入試問題をより深く理解し、どのように解けばよいかの知識も定着させます。一人ではなかなか時間がかかると思う方は是非来てください。10月に赤本を解かなくても良いぐらいのレベルまで引き上げます。

基礎知識穴埋め形式で定着しながら、兵医、関医、近大、大医、愛知医科、日本医科、慈恵などの私立医学部の良問中心に解いていきます。ある程度深いところまで理解すると、知識は自ずとついてくることが実感でき、生物が楽しいと実感することでしょう。

## 医系生物 $\alpha \cdot \beta$ ※2コマセット受講

水曜日6・7限目 B・C

(国立私立問わず) 本年度の医学部のある大学の入試問題を解けるようにする。

生物に時間をかけず、かつ入試で高得点を取りたい方は生物の選択授業をお勧めします。この講座は生物Ⅱの範囲を重点的に行い、そして生物Ⅰの範囲も生物Ⅱの知識(代謝や遺伝情報)を踏まえて解けるようにします。また、各範囲における新傾向問題をどんどん行っていきます。

一般受験生が難しいと感じる考察問題(東大、京大、阪大、東京医科歯科大、滋賀医科大、京都府立医科、大阪市大等)、もしくは一人ではなかなかやりたくない問題を、「理屈」や「根拠をもって」しっかり解けるようにすることがこの講座の目的です。どのような考え方があれば入試問題を楽しく解けるのかを第一としています。「生物の知識」があることと「入試問題」が解けることは1セットです。入試に必要な知識を解説後、その知識を踏まえ、入試問題を理解させます。理解すると、解ける。

今年の二次試験の考察問題の大半を、単なる知識問題として解けるようになるでしょう。

対象：生物の基本的な知識を理解している方

## 物理 1 講座(計2コマ)

### 医系物理 $\alpha \cdot \beta$ ※2コマセット受講

水曜日6・7限目 B・C

物理は暗記科目ではない。入試問題を解けるかどうかは、問題演習によってどれほど思考力を養ってきたかで決まる。そのためには過去の入試問題を系統立てて学ぶことが有効であろう。本講座では、京都大学、大阪大学、京都府立医大、大阪市立大等の国公立大学と、大阪医科大学、関西医科大学、東京慈恵会医科大学、日本医科大学等の私立大学の過去問から、頻出で思考力を養うものを選択し、それを演習する。また、各大学の出題傾向にも着目し、特有の問題にも対応できるようにする。週2限の本講座で十分な演習を行い、正しい物理的思考パターンを定着させていってもらいたい。

## 09 medika osaka 選択授業時間割

※1.この時間割は選択講座のみ表記しています。

2.使用する教室は変更することがありますので、受講当日に掲示を確認してください。

		18:00				19:00				20:00				21:00							
曜	教室	6限								7限											
	教室A	医系基本英作文								医系基本英文読解											
月	教室B	基礎医系生物 α								基礎医系生物 β											
	教室A	基礎数学 I A II B								基礎数学 III C											
火	教室B	医系理論化学								医系物質化学											
	教室A	医系物理 α								医系物理 β											
水	教室B	医系生物 α								医系生物 β											
	教室A																				
木	教室B	基本文法・語法								関西4医大英語											
	教室A	基礎医系理論化学								基礎医系物質化学											
金	教室B	医系数学 I A II B								医系数学 III C											

※土日は、上記とは別に、国公立対策講座を開講しています。詳細は大阪事務局までお問合せください。